

下 総 第 9 号
令和4年(2022年)1月6日

下関市監査委員 小 野 雅 弘 様
同 大 賀 一 慶 様
同 香 川 昌 則 様
同 小 熊 坂 孝 司 様

下関市長 前 田 晋太郎

行政監査の結果に関する報告に係る措置の通知について

令和3年3月31日付け監査報告第6号により提出のありました行政監査の結果に関する報告書において、制度的な検討が必要な事項として意見のありました事項について、別添のとおり改善措置を講じましたので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第14項の規定により通知します。

監査の結果に基づき講じた改善措置

【意見】

- (1) 在庫の確認にあたって、確認した事実を記録していない事例が見受けられた。必要と思われる事項（確認日、確認者、現品の数量等）を記録し、応急物資の適正な管理につなげられたい。

(改善措置状況)

次のとおり在庫確認を実施し起案文書にて決裁処理を行った。今後は、道路河川管理課にあつては、毎月確認作業を行い、その他の課にあつては、年1回のペースで同様の確認作業を行い、適正な管理を行うこととする。

	在庫確認の実施期間	決裁処理日
総務部防災危機管理課	令和3年10月5日～ 令和3年10月22日	令和3年10月22日
こども未来部幼児保育課	令和3年6月1日～ 令和3年6月30日	令和3年6月30日
保健部保健医療政策課	令和3年5月20日	令和3年5月20日
保健部動物愛護管理センター	令和3年9月1日～ 令和3年9月30日	令和3年9月30日
豊田中央病院	令和3年3月31日	令和3年3月31日
観光スポーツ文化部文化振興課	令和3年11月11日	令和3年11月11日
建設部道路河川管理課	毎月	毎月
上下水道局企画総務課	令和3年3月31日	令和3年4月2日
上下水道局給水課	令和3年3月31日	令和3年4月2日

- (2) 防災資機材備蓄センターの応急物資は、整頓されているものの、配置図等が作成されていない。令和2年9月に台風10号の接近に伴って避難所が開設された際には、対応に迫られて物資を配布した数量を記録できなかったことが反省点とされているように、実際に災害が発生した場合には混乱が生じることが想定される。円滑に行動するために不備や不

足がないか検証されたい。

(改善措置状況)

令和3年8月5日に、防災資機材備蓄センターに保管している応急物資の配置図を作成し、誰でも、物資の配置場所が分かるようにした。

令和2年9月の台風10号の時には、予想を上回る避難者が来たため、台風接近中に、物資を運搬する作業が生じ、対応に不備があった。そのため、指定避難所内の備蓄物資設置場所の拡充や設置しておく備蓄物資量を増やすなど改善に努めた。

また、令和2年9月の台風10号時には、限られた人員での対応で苦慮し、人員不足の課題が挙げられたため、情報整理員をうまく活用するなど、応援体制の更なる充実を引き続き図っていききたい。

- (3) 保管場所の中には、老朽化した施設や公共施設マネジメントの観点から集約化・複合化が計画されている施設がある。また、ハザードマップの更新等によって、避難想定区域が拡大し、現在初動の応急物資を保管している避難所が利用できなくなることも想定される。応急物資の保管に支障が生じることがないように、代替施設の確保に努められたい。

(改善措置状況)

公共施設マネジメントの観点から、廃止を検討中の防災資機材備蓄センターの代替保管場所として、下関運動公園内に現在整備中の新総合体育館（令和6年8月1日運営開始予定）に、約110㎡の防災備蓄倉庫を確保することとしている。また、洪水浸水想定区域が拡大した友田川がある安岡地区においても、富任町五丁目に計画中の安岡地区複合施設（令和7年1月運営開始予定）に、約20㎡の防災備蓄倉庫の確保を目指し、施設整備所管課と応急物資の保管場所の確保に向けた協議を進めている。

- (4) 防災資機材備蓄方針の目標と応急物資の備蓄状況との比較において、常備備蓄資機材の飲料水以外の食料等が目標の数量を大きく下回っている。令和3年度は、アルファ米2千食分と液体ミルク120本分の予算措置がなされているが、これらを整備したとしても、物資の数量は目標にほど遠い状況である。常備備蓄資機材として方針に掲げた数量は、緊急時に必要な数量として算定されていると思料する。災害の発生は予測ができないことを念頭に、早期に整備を達成するよう努められたい。

(改善措置状況)

常備備蓄資機材である、アルファ米やパン、サバイバルフーズなどについては、令和3年度から令和8年度までに配備を完了する計画として

いる。しかしながら、これらの常備備蓄資機材は、緊急時に最低限必要となるものと考えているので、民間業者等から災害物資の寄附の申し出があった際などには、これらの物資の寄附を優先していただくなど、可能な限り早期の常備備蓄資機材の確保に努める。